

研修05

人事評価実践研修

人を育て、組織を変える評価制度の運用



研修時間

3 時間

人事評価を組織改革と人材育成の仕組みに変える研修



研修概要

人事評価制度は、単に職員を査定するための制度ではなく、職員の成長を支援し、組織全体の成果を高めるためのマネジメントツールです。

本研修では、人事評価が形骸化する原因を整理し、目標設定、日常の観察、評価面談、フィードバックまでを一連のプロセスとして見直します。

評価の付け方だけでなく、人事評価を人材育成と組織改革につなげる考え方を、実例や演習を交えながら学びます。評価を「査定」ではなく、「組織を変えるマネジメント」として活用する力を養います。



研修のねらい

- ✓ 人事評価制度の本来の目的を理解する
- ✓ 評価のマンネリ化・形骸化の原因を把握する
- ✓ 客観的事実に基づく評価方法を身に付ける
- ✓ 育成につながる評価面談を実践できるようになる
- ✓ 組織改革につながる人事評価の考え方を学ぶ
- ✓ 「人事評価は組織の未来を創造するもので、単なる人に対する評価ではない」ことを改めて確認する

プログラム構成

第1章

人事評価制度を見直す

- 人事評価はなぜ必要なのか
- 人事評価制度の目的
- 評価が形骸化する原因
- 次世代職員の価値観の変化
- 評価が組織風土に与える影響

演習①

「あなたの組織の人事評価の課題」を整理する。

第2章

納得性の高い評価を行う

- 目標設定の重要性
- 行動記録とエビデンス
- B評価が続く理由
 - どうなればAになるかを告げられない評価は評価ではない
- 良い評価コメント・悪い評価コメント
- 評価面談の進め方

演習②

評価コメントを書いてみる。
Good例・NG例を比較しながら改善する。

第3章

評価を育成につなげる

- 評価は未来をつくる会議
- フィードバックのポイント
- 上司に求められるマネジメント
- 離職防止と人事評価
- 明日から実践する行動計画

演習③

部下との評価面談ロールプレイ・改善計画の作成。